

みんなの手で「福祉の里づくり」!

令和元年度の事業・予算を紹介

市社会福祉協議会では、みなさんの理解と協力を得て地域福祉を進めています。今年度も次のような事業を進めていきます。なお、個別事業の詳細については、本会ホームページを参照してください。



私たちが、地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)です



社協だより

182号

令和元年6月1日

発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会
〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

今年度新たに
取り組みを
始める事業を
紹介します。

生活支援体制整備事業

4月より生活支援体制整備事業を宗像市から受託し、社会福祉協議会の基本理念である住民主体の原則に基づき、従来から取り組んできた地域福祉活動や地域福祉組織化活動を生かしながら、さらなる地域福祉の充実に努めます。

【具体的取り組み】

- ①地域の社会資源の把握と課題抽出
- ②生活支援ニーズの把握
- ③地域の社会資源の開発
- ④生活支援ニーズと担い手との調整
- ⑤協議体の設置・運営
- ⑥関係者間のネットワークの構築
- ⑦生活支援の担い手の養成
- ⑧地域ケア会議への参加

地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)を配置します。

中学校区を単位とする6圏域に、地域支え合い推進員を配置し、国が進める地域共生社会の実現に向けた地域づくり、資源開発、ネットワーク化に積極的に取り組むことにより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進します。

地域支え合い会議(地域づくりを推進する協議体)の設置・運営を担います。

コミュニティを単位として、地域住民と専門職、福祉団体、関連事業所などが一緒になって地域の支え合いを発展させ、地域づくりを推進する地域支え合い会議(協議体)の設置及び運営を担います。

障がい児者福祉事業

- ◎おもちゃ図書館の運営
- ◎声の広報配布事業
- ◎手話講習会事業
- ◎要約筆記ボランティア事業など

高齢者福祉事業

- ◎「オレンジ(認知症)カフェ」開設の推進・支援
- ◎認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座、「RUN伴」推進事業の実施 など

福祉の里 ともにいきるまち宗像 推進事業

- ◎ライフサポート(地域福祉権利擁護)事業の充実
- ◎市内社会福祉法人の連携・協働を推進する「社会福祉法人連絡会」の活動支援
- ◎介護予防いきいき交流会の実施
- ◎心配ごと相談事業の実施 など

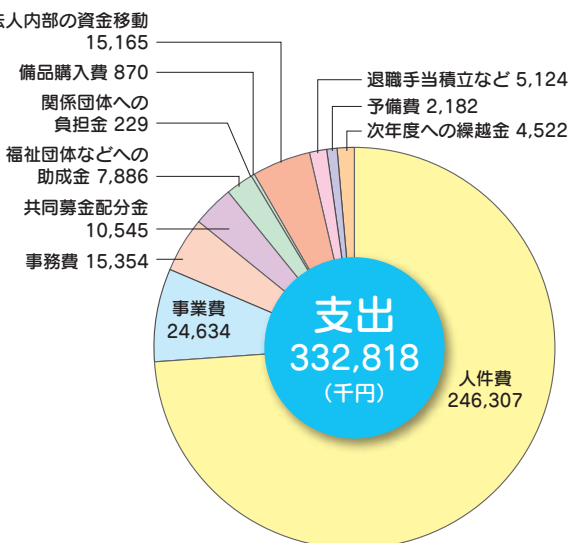
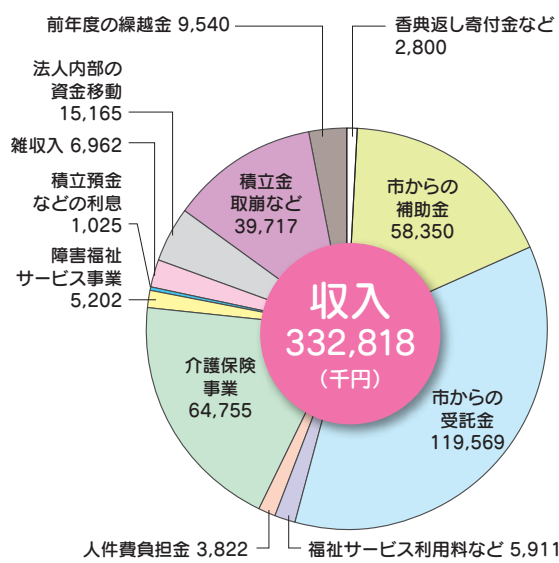
子育て子育て・母子寡婦福祉支援事業

福祉団体との連携・支援強化

低所得者等福祉事業の推進

資金収支予算内訳表

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日



ボランティア活動の推進

- ◎ボランティア登録事業の促進
- ◎各ボランティア講座の開催
- ◎ボランティア活動と福祉教育との連携強化
- ◎災害ボランティアコーディネーター機能の充実 など

福祉教育の推進

- ◎福祉教育セミナーの実施
- ◎福祉教育推進校(園)の福祉体験学習の支援 など

大島福祉センター「ふれ愛センター」の適切な施設運営

発達支援センター療育施設「のぞみ園」の適切な施設運営

障害者生活支援センター事業の適切な運営

高齢者や障がい者などの介護事業の適切な運営

- ◎要介護認定調査事業
- ◎訪問介護事業
- ◎居宅介護支援事業
- ◎いきがい活動通所支援
- ◎地域生活支援事業
- ◎スマイルハート(介護保険外介護・家事支援)事業の充実 など

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力





地域とともにすすめる福祉教育！

～赤間西小学校6年生～高齢者を理解する学習の紹介

つながれ
ひろがれ
地域福祉!
シリーズ③



● 赤間西小学校6年生の福祉教育では、赤間西地区福祉会の協力のもと「高齢者を理解する学習」を実施しています。

● 昨年度のテーマは、「つながるまち赤間西いきいきシルバライフ」。高齢者疑似体験をはじめ、赤間西地区の高齢者の現状を学習し、認知症サポーター養成講座を実施しました。その後、「地域の高齢者の居場所である各公民館のいきいきふれあいサロンやサークル活動などに訪問しました。

● 最初は子どもたちも緊張していましたが、体操や歌やゲームなどを通して、少しずつ高齢者のみなさんと距離が縮まっていきました。子どもたちから高齢者のみなさんへ向けたインタビューでは、「若い頃の楽しかった思い出を聞かせてください」「特技は何ですか」など、子どもたちからさまざまな質問が飛び交い、うれしそうに笑顔で答えてくださいました。

● 公民館訪問後は、子どもたちから「給食・昔あそび交流会や「ふれあい交流会」に招待してもらい、交流を重ねました。

● 地域の高齢者との交流を通して、子どもたちの高齢者への配慮や接し方に変化が出てきました。「登下校時などに積極的に元気よくあいさつしてくれる子どもが増えた」「名前を覚えてくれ、話しかけてくれた」など地域からも喜びの声をいただきました。

● これからも地域のみなさんや学校（園）と連携を取り、子どもたちの福祉の心を育み、福祉教育をすすめていきます。

● 赤間西小学校6年生の福祉教育では、赤間西地区福祉会の協力のもと「高齢者を理解する学習」を実施しています。

● 昨年度のテーマは、「つながるまち赤間西いきいきシルバライフ」。高齢者疑似体験をはじめ、赤間西地区の高齢者の現状を学習し、認知症サポーター養成講座を実施しました。その後、「地域の高齢者の居場所である各公民館のいきいきふれあいサロンやサークル活動などに訪問しました。

● 最初は子どもたちも緊張していましたが、体操や歌やゲームなどを通して、少しずつ高齢者のみなさんと距離が縮まっていきました。子どもたちから高齢者のみなさんへ向けたインタビューでは、「若い頃の楽しかった思い出を聞かせてください」「特技は何ですか」など、子どもたちからさまざまな質問が飛び交い、うれしそうに笑顔で答えてくださいました。

● 公民館訪問後は、子どもたちから「給食・昔あそび交流会や「ふれあい交流会」に招待してもらい、交流を重ねました。

● 地域の高齢者との交流を通して、子どもたちの高齢者への配慮や接し方に変化が出てきました。「登下校時などに積極的に元気よくあいさつしてくれる子どもが増えた」「名前を覚えてくれ、話しかけてくれた」など地域からも喜びの声をいただきました。

● これからも地域のみなさんや学校（園）と連携を取り、子どもたちの福祉の心を育み、福祉教育をすすめていきます。



● 赤間西小学校6年生の福祉教育では、赤間西地区福祉会の協力のもと「高齢者を理解する学習」を実施しています。

● 昨年度のテーマは、「つながるまち赤間西いきいきシルバライフ」。高齢者疑似体験をはじめ、赤間西地区の高齢者の現状を学習し、認知症サポーター養成講座を実施しました。その後、「地域の高齢者の居場所である各公民館のいきいきふれあいサロンやサークル活動などに訪問しました。

● 最初は子どもたちも緊張していましたが、体操や歌やゲームなどを通して、少しずつ高齢者のみなさんと距離が縮まっていきました。子どもたちから高齢者のみなさんへ向けたインタビューでは、「若い頃の楽しかった思い出を聞かせてください」「特技は何ですか」など、子どもたちからさまざまな質問が飛び交い、うれしそうに笑顔で答えてくださいました。

● 公民館訪問後は、子どもたちから「給食・昔あそび交流会や「ふれあい交流会」に招待してもらい、交流を重ねました。

● 地域の高齢者との交流を通して、子どもたちの高齢者への配慮や接し方に変化が出てきました。「登下校時などに積極的に元気よくあいさつしてくれる子どもが増えた」「名前を覚えてくれ、話しかけてくれた」など地域からも喜びの声をいただきました。

● これからも地域のみなさんや学校（園）と連携を取り、子どもたちの福祉の心を育み、福祉教育をすすめていきます。

● 赤間西小学校6年生の福祉教育では、赤間西地区福祉会の協力のもと「高齢者を理解する学習」を実施しています。

● 昨年度のテーマは、「つながるまち赤間西いきいきシルバライフ」。高齢者疑似体験をはじめ、赤間西地区の高齢者の現状を学習し、認知症サポーター養成講座を実施しました。その後、「地域の高齢者の居場所である各公民館のいきいきふれあいサロンやサークル活動などに訪問しました。

● 最初は子どもたちも緊張していましたが、体操や歌やゲームなどを通して、少しずつ高齢者のみなさんと距離が縮まっていきました。子どもたちから高齢者のみなさんへ向けたインタビューでは、「若い頃の楽しかった思い出を聞かせてください」「特技は何ですか」など、子どもたちからさまざまな質問が飛び交い、うれしそうに笑顔で答えてくださいました。

● 公民館訪問後は、子どもたちから「給食・昔あそび交流会や「ふれあい交流会」に招待してもらい、交流を重ねました。

● 地域の高齢者との交流を通して、子どもたちの高齢者への配慮や接し方に変化が出てきました。「登下校時などに積極的に元気よくあいさつしてくれる子どもが増えた」「名前を覚えてくれ、話しかけてくれた」など地域からも喜びの声をいただきました。

● これからも地域のみなさんや学校（園）と連携を取り、子どもたちの福祉の心を育み、福祉教育をすすめていきます。

● 赤間西小学校6年生の福祉教育では、赤間西地区福祉会の協力のもと「高齢者を理解する学習」を実施しています。

● 昨年度のテーマは、「つながるまち赤間西いきいきシルバライフ」。高齢者疑似体験をはじめ、赤間西地区の高齢者の現状を学習し、認知症サポーター養成講座を実施しました。その後、「地域の高齢者の居場所である各公民館のいきいきふれあいサロンやサークル活動などに訪問しました。

● 最初は子どもたちも緊張していましたが、体操や歌やゲームなどを通して、少しずつ高齢者のみなさんと距離が縮まっていきました。子どもたちから高齢者のみなさんへ向けたインタビューでは、「若い頃の楽しかった思い出を聞かせてください」「特技は何ですか」など、子どもたちからさまざまな質問が飛び交い、うれしそうに笑顔で答えてくださいました。

● 公民館訪問後は、子どもたちから「給食・昔あそび交流会や「ふれあい交流会」に招待してもらい、交流を重ねました。

● 地域の高齢者との交流を通して、子どもたちの高齢者への配慮や接し方に変化が出てきました。「登下校時などに積極的に元気よくあいさつしてくれる子どもが増えた」「名前を覚えてくれ、話しかけてくれた」など地域からも喜びの声をいただきました。

● これからも地域のみなさんや学校（園）と連携を取り、子どもたちの福祉の心を育み、福祉教育をすすめていきます。

● 赤間西小学校6年生の福祉教育では、赤間西地区福祉会の協力のもと「高齢者を理解する学習」を実施しています。

● 昨年度のテーマは、「つながるまち赤間西いきいきシルバライフ」。高齢者疑似体験をはじめ、赤間西地区の高齢者の現状を学習し、認知症サポーター養成講座を実施しました。その後、「地域の高齢者の居場所である各公民館のいきいきふれあいサロンやサークル活動などに訪問しました。

● 最初は子どもたちも緊張していましたが、体操や歌やゲームなどを通して、少しずつ高齢者のみなさんと距離が縮まっていきました。子どもたちから高齢者のみなさんへ向けたインタビューでは、「若い頃の楽しかった思い出を聞かせてください」「特技は何ですか」など、子どもたちからさまざまな質問が飛び交い、うれしそうに笑顔で答えてくださいました。

● 公民館訪問後は、子どもたちから「給食・昔あそび交流会や「ふれあい交流会」に招待してもらい、交流を重ねました。

● 地域の高齢者との交流を通して、子どもたちの高齢者への配慮や接し方に変化が出てきました。「登下校時などに積極的に元気よくあいさつしてくれる子どもが増えた」「名前を覚えてくれ、話しかけてくれた」など地域からも喜びの声をいただきました。

● これからも地域のみなさんや学校（園）と連携を取り、子どもたちの福祉の心を育み、福祉教育をすすめていきます。

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日の「イオン・デー」に実施されている「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、お客さまがレジ精算時に受け取った黄色いレシートを地域のボランティア団体名と活動内容が書かれたボックスへ投函します。レシート合計金額の1%をそれぞれの団体に品物として寄贈する取り組みです。

4月14日にイオン福津店にて贈呈式があり、本会に5,700円分のギフトカードが寄贈されました。

前回寄贈いただいたギフトカードは、いきいきふれあいサロン活動の健康チェックの時に使用する除菌ウェットティッシュの購入に活用しました。今回いただいたギフトカードも地域に貢献・活用できる品物を購入します。

普段の買い物で地域貢献につながるという取り組みとみなさまの心遣いに感謝します。



イオン福津店の柴北店長から寄付を受け取る宗像市社会福祉協議会

障がい福祉講演会

参加者募集

市あゆみの会は「障がいの者のグループホーム」をテーマに下記の通り講演会を開催します。

障がいがあってもいつまでも住み慣れた地域で暮らすことができるように一緒に考えてみませんか？

●日時 7月6日(土) 午前10時～正午(午前9時30分受付)

●会場 宗像ユリックス会議室1・2

●講師 社会福祉法人昴アドヴァンス 主任 吉田隆俊氏

●内容 医療的ケアが必要な障がいの者のグループホームについて

●主催 宗像市あゆみの会

●共催 特定非営利活動法人夢現

●対象 障がいの家族、福祉事業所、関心のある人

●定員 先着50人

●参加費 無料

●申込方法 6月28日(金)までに市社会福祉協議会 ☎(37)1300へ申し込む

～思いやりの心を育てる～ 手話講習会3コース 受講者大募集!

4月より来年3月までの1年間を通して学ぶ「手話講習会」を開講中です。

初心向けのコースもあり、講義はゆっくり進みますので、年度途中からでも安心して受講できます。

まずは見学も歓迎です。気軽に問い合わせてください。



和やかな雰囲気ですべます

●受講料 年間で500円。テキスト代として別途200円程度が必要

●申込・問い合わせ先 同センター

コース	時間	会場
火曜コース	19:00～21:00	メイトム宗像202会議室
金曜コース	13:30～15:30	玄海地区コミセン
土曜コース	13:00～15:00	メイトム宗像202会議室



子どもクラスもあります!

ボランティアセンター通信

土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時
☎(37)4100 ☎(37)4101
ホームページ <http://syakyo.munakata.com/volunteer/>
メールアドレス v-net@syakyo.munakata.com

障害者生活支援センター

土・日曜日、祝日を除く 午前8時30分～午後5時
☎(34)2411 ☎(34)2420
メールアドレス saaw09180@hkg.odn.ne.jp

第1回ピアサポーター事業
参加者募集のお知らせ!!
夏の暑さを吹き飛ばそう!!
オリジナルうちわ作り



同センターでは、障がいのある人やピアサポーター（障がいのある当事者・家族の相談員）が一緒になって活動をするピアサポーター事業を開催しています。

●今回は、自分好みに染めた和紙を使って、うちわを作ります。和紙の折り方や染め方によってさまざまな模様が楽しめます。今年の夏に大活躍のうちわを一緒に作りながら、楽しい時間を過ごしませんか。

●障がいのある人で、レクリエーション活動を通じて仲間づくりをしたい人の参加を待っています。もちろん初めての参加も大歓迎です!

●詳しい内容については、問い合わせください。

●日時 6月16日(日) 午前9時15分～12時

●集合場所 メイトム宗像203会議室

●対象 障がいのある人

●定員 20人程度

●参加費 300円

●持ってくるもの
のり・はさみ

●申込期間 6月7日(金)まで

●※当日は絵の具を使います。汚れてもよい服装でお越しください

●問い合わせ先 同センター
☎(34)2411
FAX(34)2422

「香典返し」(敬称略)

●(故)長井義夫 (天平台)

●(故)松本正 (鐘崎)

●(故)田中マキ子 (赤間)

●(故)吉永静磨 (稲元)

●(故)小田将令 (神湊)

●(故)増田キヌ子 (稲元)

●(故)室屋行孝 (稲元)

●(故)石松フキコ (須恵)

●(故)佐藤千里 (大島)

●(故)平川茂喜 (赤間)

●(故)小田敏正 (河東)

●(故)目原雅夫 (大島)

●(故)山口正隆 (田野)

●(故)岩田不二生(自由ヶ丘)

(平成31年4月30日受付分まで)



わたしたちがピアサポーターです。

ピアサポーターには、ピアサポーター（障がいのある当事者・家族の相談員）が5人います。ピアとは「仲間」という意味です。同じ立場で一緒に考え、解決への手伝いをするのを「ピアサポーター」といいます。この相談員がピアサポーターです。障がいがある人や家族の身近な相談相手として活動しています。

「ちよっと話を聞いてほしい」など相談がありましたら、お気軽に連絡してください。

相談以外にも次のような活動を実施しています。

●ピアサポーター事業(社会参加のための交流行事)

●情報誌「すまいる」の発行

●パソコン勉強会

●活動に興味・関心のある人はセンターまでご連絡ください。

社協だよりは、偶数月の1日号です (年間6回)

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地メイトム宗像内 ☎(37)1300

大島支所 宗像市大島1809番地32ふれあいセンター内 ☎(72)2294

ホームページ <http://syakyo.munakata.com/> メール info@syakyo.munakata.com

本会は、むななたタウンプレスを音にして届ける「声の広報」活動を実施しています

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願いいたします。